子どもたちの「あふれる笑顔　きらめく瞳」をめざして

スマイル

中学校区一貫教育校園　玉野市立玉小学校　学校だより第５５号（令和7年1月22日）

キャリア教育　目的（もくてき…なんのためにするのか）を考えよう

みなさんは、玉小のホームページを見たことがありますか？学校の歴史や教育目標、行事予定などを載せています。（“玉小の子どもたち”について、以前は日々の様子を載せていましたが、私のパソコンが新しくなり、写真の加工に手間取り、今は学校だよりを載せています）

ホームページでは学校だよりの見出しの後ろに**【閲覧数（えつらんすう）…見られた回数】**が出ます。令和４年度から前号（５４号）までで書いた学校だよりはちょうど１５０枚になりましたが、その中で…

【閲覧数】ベスト３（R7.1.21 現在）

第１位　令和４年度　第１４号

No.14_(R4.9.13)_運動会の目的.pdf 2185

第２位　令和６年度　第１１号

No.11_(R6.5.17)_運動会ってなんのためにするの？.pdf 1228

第３位　令和５年度　第１１号

No.11_(R5.5.26)_【関わり合い】②･･･聞き方名人・話し方名人.pdf 526

玉小のみなさんやおうちの方々に「思いが届いてほしい」と毎号書いて、配付していますが、玉小の子どもたちや保護者の方以外の方々、見てくださってありがとうございます。

同じ時期に出した学校だよりの閲覧数が７０～９０回なのに対し、**特に第１位（２１８５回）第２位（１２２８回）はとても多くの方に見てもらっている**ということになります。

第１位・第２位ともに【運動会の目的（なんのためにするのか）】について書いたものです。結果を見れば**「運動会の目的をどう考えているのかに興味がある人が多い」**と言えます。

私は**「目的は大事。なぜなら“なんのためにするのか”を知って行う方が自分から進んでがんばれるから学力や行動力が上がり、結果として幸せになる」**と考えています。そうなってほしいので、今までもみなさんに【目的】についてお話をしていましたが、今回は「３人のレンガ職人」を読んで、改めて【目的】について考えてみてください。

なおイソップ寓話は、はるか昔のお話なので、登場する職人は全て“男”になっていますが、今の時代は当然、女性の職人さんも多くおられます。原文を変えるわけにはいかないので、読むときには、“男”を“人”に変えて読んでください。

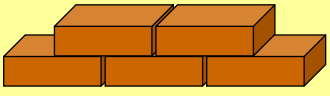
３人のレンガ職人

イソップ童話

昔々、ある町外れの道を旅人が歩いていると、一人の男がぶ然とした表情で、レンガを積（つ）んでいるのに出くわした。

旅人が男に向かって「何をしているのですか？」と尋（たず）ねると男は「見れば分かるだろう。レンガを積んでいるんだ。俺は、親方に言われて朝から晩までレンガを積まなければならないんだ。年がら年中、朝から晩までレンガ積みだ。まったくついていない。こんなにきつくてつまらない仕事、本当は辞めてしまいたいよ」とぶっきらぼうに答えた。

旅人は「そうですか。大変ですね」と男をねぎらって歩き始めた。



旅人が少し歩くと、別の男がせっせとレンガ積みをしていた。

旅人が男に向かって「何をしているのですか？」と尋ねると男は「俺はね、ここで大きな壁を作っているんだよ。これが俺の仕事なんだ」と答えた。

旅人が「大変ですね」といたわりの声をかけると男は「なんてことないよ。この仕事のおかげで俺は家族を養っていけるんだ。ここでは、家族を養っていく仕事を見つけるのが大変なんだ。俺なんて、ここでこうやって仕事があるから家族全員が食べていくことに困らない。仕事があるだけありがたいよ」と少し微笑みながら答えた。
旅人は男に励ましの言葉を残して、歩き始めた。また、もう少し歩くと、別の男が生き生きと楽しそうにレンガを積んでいるのに出くわした。

旅人がその男に向かって「何をしているのですか？」と尋ねると男は嬉しそうに言った。
「俺たちのことかい？俺たちは歴史に残る偉大な大聖堂を造っているんだ」
旅人が「大変ですね」といたわりの言葉をかけた。
すると男は、旅人に向かって満面の笑みを浮かべ、両手を広げながら自信満々に言った。
「とんでもない！この大聖堂で多くの人が祈りを捧げ、安らぎを得ることができるんだ！素晴らしい仕事だろう！」

旅人はその男の言葉を聞いて、嬉しくなった。
その男にお礼の言葉を残して、元気いっぱいに歩き始めた。

１人目の男･･･１０年前と同じように文句を言いながらレンガを積んでいました。
２人目の男･･･レンガ積みよりお金の良い仕事につきましたが、危険を伴う屋根の上で仕事をしていました。
３人目の男･･･建築現場の監督となり、多くの職人を育て、出来上がった大聖堂には彼の名前がつけられました。

まずは目的から

この３人のレンガ職人、仕事はレンガを積むという同じことをしています。そのためもらえるお金もほぼ同じでしょう。それでは何が違うのでしょうか？比べてみると･･･

	見ているもの	レンガ積みは？	働く目的
１人目の男	レンガ	つまらない、やめたい	なし（言われたからやる）
２人目の男	壁	家族を養うための手段	生活のため
３人目の男	大聖堂	歴史に残る偉大な大聖堂をつくる	世の中や他の人の役に立つため

①「何のために働くのか」という**目的意識（目的を大切にする気持ち）**が違います。
②**目的意識**が違うので、**仕事へのモチベーション（意欲）**が違います。
③「俺（１人目・２人目）」「俺たち（３人目）」という**チーム意識**が違います。

働く目的は、その人の考え方や世の中の状況によって、いろいろあります。したがって“３人目の男”が正しくて“１人目の男”と“２人目の男”がまちがいではありません。
ただ３人目の男は、“レンガを積む”という仕事の中に、「自分はみんなを幸せにできるすばらしい仕事をしているんだ」というプライドと生きがいがあって、一つ一つ、心を込めてレンガを積んでいます。自分の仕事を通して、「世の中や他の人の役に立とう」という気持ちにあふれていると思いませんか？　考えてみましょう。あなただったら

どの男に仕事をたのみたいですか？
将来、仕事についた時、どの男のようになりたいですか？

「３人のレンガ職人」は仕事に関係する話でしたので、“遠い先のお話”のように感じますが、【目的】はみなさんの生活の中にいっぱいあります。例えば、目標シートには「**なりたい自分になるため（目的）**に目標や具体的な行動」を書いています。またそれぞれの授業では勉強する内容に合わせて**「できること・わかることを増やすため、それらを生活で使えるようにするため（目的）」**に行っています。そうじにも給食当番にも、おうちでの生活や習い事にも目的があります。**勉強や生活の中で進まなかったり、悩んだりした時には「これって、なんのためにするのか？」を考えてみてはどうでしょうか？少し元気が出るかも。**